

SIMIのご案内

一般財団法人
社会的インパクト・マネジメント・イニシアチブ

2021年7月1日

VISION

社会的インパクト・マネジメントが実装され、
社会課題解決や社会価値創造が行われている社会

MISSION

あらゆる組織の社会的インパクト・マネジメントを促進するとともに、
組織や業界、活動分野を越えた参画・協働を加速する共創基盤を提供します。

一般財団法人社会的インパクト・マネジメント・イニシアチブ

(Social Impact Management Initiative: SIMI)は

日本において事業者、資金提供者・仲介者、行政、中間支援組織・シンクタンク、評価者・研究者など
多様なメンバーが連携して、日本全体として「社会的インパクト・マネジメント」を普及させるための
マルチセクター・イニシアチブです。

世界各国で社会的インパクト投資やマイクロファイナンスといった、社会課題の解決に資金を活用する試みが潮流となる中で、社会課題解決の担い手である非営利組織や企業、資金提供者である金融機関や財団など、あらゆる主体が「社会的インパクト」を中核に置いた事業運営を行う必要性はますます高まっています。

こうした流れの中で、多様な立場の人々が一緒になって成果を生み出す活動を推進していくために、成果を言語化・可視化し、またデータによって成果を示していく必要性が増えいくとの認識のもと、2016年に「社会的インパクト評価イニシアチブ」を発足させました。その後、「社会的インパクト」の重要性を認識、理解し、その評価やマネジメントを普及させるため、社会的インパクト・マネジメントの普及を主軸とした活動を続け、2020年10月、その取り組みを加速させるため、法人化しました。約160の組織・個人のメンバー(2021年6月時点)とともに、ビジョンとミッションの実現を目指し、活動しています。

社会的インパクト評価
イニシアチブ発足

2016年6月

「社会的インパクト志向原則」、「社会的イン
パクト・マネジメント・フレームワーク」を公開

2018年6月

「社会的インパクト・マネジメント・
イニシアチブ」へ改称

2019年1月

2017年1月

ビジョンおよびロードマッ
プ2017-2020を公開

2018年11月

「社会的インパクト・マネジメ
ント・ガイドライン」を公開

2020年10月

一般財団法人として
法人登記

グローバルネットワークの構築やグローバルな最新情報の発信を通して、社会的インパクト・マネジメントに関する知見の高度化に取り組んでいます。

グローバルリソースセンター

社会的インパクト・マネジメント、インパクト投資、サステナブル・ファイナンス全般における海外の主要リソースをピックアップして日本語でわかりやすく解説する、情報ポータルサイトを運営しています。現在25の資料を掲載しています。



掲載資料例

- インパクト原則ーインパクト投資拡大のための取り組み拡大と深化(GSG)
- インパクト投資ハンドブックー実践者向け実践ガイド (Rockefeller Philanthropy Advisors)
- インパクト加重会計ーインパクト・エコノミーのために必要なもの(ハーバードビジネススクール)

グローバルネットワークの構築

SIMやインパクト投資に関わる国際的な議論に参画すべく、海外の関係団体とのネットワーク、パートナーシップ構築に取り組んでいます。



OECD Social and Solidarity Economyへ、パートナーシップ団体としての参加(2021年5月～)



Impact Management Project (IMP)によるImpact Frontiersへの参加(2021年5月～)

ガイドライン・ツールセットの開発や、アウトカム指標や事例などのデータベース構築を通して、社会的インパクト・マネジメントの実践に必要な情報やツールを提供しています。

ガイドライン・ツールセットの開発

SIMIでは2018年に社会的インパクト・マネジメントの具体的な実施要領を示した「社会的インパクト・マネジメント・ガイドライン」を作成しました。2021年には、多様なセクターからの関心の高まりを受け、事業者がより効果的に社会的インパクト・マネジメントを実践する一助となるよう、改訂版を発表しました。

環境や就労支援など12の活動分野ごとに、ロジックモデルやアウトカム指標などマネジメントの実践例を示したツールセットも開発しています。

ガイドライン 目次

- 1章 社会的インパクトについて考える
- 2章 社会的インパクト・マネジメントとは
- 3章 社会的インパクト・マネジメントの実践とは
- 4章 インパクト・マネジメント・サイクルの回し方
- 5章 組織文化の醸成とガバナンスの構築
- 6章 社会的インパクト・マネジメントの実践ステップ

データベースの構築

社会的インパクト・マネジメントの実践の一助となる様、活動分野ごとのアウトカム、指標、測定方法を検索できるデータベースを提供しています。また、国内における社会的インパクト・マネジメントの実践事例や報告書などを掲載しています。

掲載資料

- アウトカム指標データベース
- 実践事例
- 調査報告書・レポート

The screenshot shows a search interface with a dropdown menu for '分野で絞り込む' (Filter by field) and a search results table. The table has columns for '詳細アウトカム' (Detailed Outcome), 'アウトカムカテゴリ' (Outcome Category), and '指標' (Indicator). Two results are visible, both related to 'ソーシャルキャピタル' (Social Capital).

詳細アウトカム	アウトカムカテゴリ	指標
12.1. アウトカムつながり・交流の増加	ソーシャルキャピタル	日常的なつまあいの程度
12.2. アウトカムつながり・交流の増加	ソーシャルキャピタル	次人等とのつまあいの程度

国内外の最新動向を共有する「Social Impact Day」や研修・セミナーの開催を通して、社会的インパクト・マネジメントの普及・啓発に取り組んでいます。

Social Impact Day

2016年より年1回、国内外のゲストを招き、社会的インパクト評価、マネジメントに関する国内外の最新動向を共有するカンファレンス「Social Impact Day」を開催しています。

2020年度実績

オンラインにて、2021年1月23日、25日、26日に開催し、全13セッションに18ヶ国・地域より延べ2015名の参加がありました。

主なセッションテーマ

- SIM、インパクト投資に関する最新のグローバル潮流
- 日本での営利・非営利・行政のSIM実践事例
- 国際的な新たな基準、フレームワークの動き

研修やセミナーの開催

SIMの普及啓発を促進するため、ウェブサイト、ニュースレター、SNS等でのSIMの取り組み事例の発信、幅広いセクターを対象としたセミナー等を開催しています。

2020年度実績

- SDG Impact Standards (for Enterprises) 解説・相談会(2020年11月)
UNDP SDG Impact 企画運営委員会委員を務める渋沢健氏(SIMI評議員)をゲストに迎え、SDG Impact 認証制度の動きや参画についてを議論しました。
- 国際指標データベースIRIS+を活用した社会的インパクト・マネジメント実践ワークショップ(2021年3月)
米国Global Impact Investing Network(GIIN)よりゲストを迎え、国際的な指標データベースであるIRIS+の有用点や導入方法について紹介しました。
- 講演「インパクト評価とインパクトマネジメント」(経団連 企業行動・SDGs委員会企業行動憲章タスクフォース主催、2020年12月。講演者:今田(代表理事))
- 講演「社会的インパクト評価の概要」(サステナビリティ経営ネットワーク主催、2021年1月。講演者:高木(理事))

国内外のパートナーとの連携

グローバルの知見の日本での活用と、日本の実践知のグローバルへのインプット

2021年度のSIMIでは、様々な取り組みが先行するグローバルな知見をキャッチアップし、日本での応用、適応、進化を目指します。例えばグローバル・リソースセンターは欧米を中心に海外在住のメンバーも含めた合計9名のフェローとともに海外で注目を集めるSIM関連資料の日本での紹介に引き続き取り組んでいきます。

また、SIM関連分野における海外で活動しているイニシアチブ等へ積極的に参加することで、グローバル・スタンダードの制作過程に対して日本の実践知を元にインプットを行い、グローバルレベルでの本領域の発展に貢献します。

参加予定(検討中含む)のイニシアチブ、イベント

参加予定イニシアチブ ※一部抜粋

- OECD Social and Solidarity Economy(パートナーシップ団体)
- Impact Management Project(IMP):Impact Frontiers
- Impact Management Project(IMP):Outreach Partner

国内の実践の促進

実践ツールセットの拡充と普及広報

2016年度から実施してきた社会的インパクト・マネジメント実践者のためのツールセットの拡充、Social Impact Dayやセミナー等を通じて社会的インパクト・マネジメントの実践事例の増加と認知度の向上を目指します。

①実践ツールの拡充

- 社会的インパクト・マネジメントガイドラインversion 2の普及
- 分野別ガイドラインの作成検討 他

②普及広報

- Social Impact Day2021の開催
- 大学連携による社会的インパクト・マネジメント講座開設 他

③エコシステム構築

- 資金提供者、事業者(営利/非営利)など、対象別のSIM実践に向けた情報提供とネットワーキング
- 国内外のSIM実践ベストプラクティスの収集、蓄積とその知見の発展、公開

④人材育成事業

- 社会的インパクト・マネジメント入門セミナーの開催
- 外部組織と連携したSIM実践者育成のための新規プログラムの企画、実施



青柳 光昌

一般財団法人社会変革推進財団(SIIF) 専務理事

財団法人日本船舶振興会(現:日本財団)に就職後、障害者の移動困難の解消、NPO支援センター強化など市民活動の促進に従事。2011年の東日本大震災後、同財団の災害復興支援チームの責任者として、企業や行政と連携した多くの支援事業に携わる。その後、子どもの貧困対策や日本での社会的インパクト投資普及のための事業に従事。一般財団法人社会的投資推進財団の代表理事を経て現職。



太田 達男

公益財団法人公益法人協会 会長

44年間の信託マンとしての経歴を経て、財団法人公益法人協会をはじめ多くの非営利法人の役員を歴任。公益法人制度改革では、2000年法制審議会民法部会の法人制度分科会を皮切りに、公益法人制度の抜本改革に関する懇談会委員や民間法制・税制調査会座長代理として、非営利セクターの立場から提言活動と市民団体との対話を続けてきた。一般財団法人非営利組織評価センター理事長。



水口 剛

公立大学法人高崎経済大学 学長

専門は非財務情報開示、責任投資等。市場メカニズムを通し持続可能な社会を実現するためにESG要素を投資意思決定に統合する責任投資が定着することを目指し研究・提言を実施。金融庁・GSG国内諮問委員会共催「インパクト投資勉強会」座長、NPO法人社会的責任投資フォーラム共同代表理事等を歴任。著書に『ESG投資―新しい資本主義のかたち』(日本経済新聞出版社)等、博士(経営学)。



有馬 充美

西武鉄道株式会社 社外取締役
株式会社プリンスホテル 社外取締役

みずほグループに32年間勤務。女性初の執行役員として豊富な組織マネジメント経験を持つ。ソーシャルセクターとの連携による社会イノベーション創出にも関心を持ち、アシヨカジャパンとの提携、社会起業家へのインパクト投資斡旋を実施。Harvard Advanced Leadership InitiativeにFellowとして留学、発達心理学を活用したリーダーシップスキル育成プログラムを主に女性向けに展開中。



澁澤 健

シブサワ・アンド・カンパニー株式会社 代表取締役
コモンズ投信株式会社 取締役会長

複数の外資系金融機関でマーケット業務に携わり、2001年にシブサワ・アンド・カンパニー株式会社を創業し代表取締役に就任。07年にコモンズ株式会社(現コモンズ投信株式会社)を創業、08年に会長に就任。経済同友会幹事、UNDP(国連開発計画)SDG Impact運営委員会委員、東京大学社会連携本部シニアアドバイザー等。



源 由理子

明治大学公共政策大学院ガバナンス研究科 教授

国際協力事業団(現国際協力機構、JICA)等を経て現職。専門は評価論、社会開発論。改善・変革のためのをテーマとし、社会セクターの政策・事業の評価手法、評価制度構築、参加型・協働型評価に関する研究・実践を積む。日本評価学会理事。アメリカ国際経営大学院修士課程修了。東京工業大学大学院社会理工学研究科博士後期課程(人間行動システム専攻)修了、博士(学術)。



今田 克司

代表理事

米国(6年)、南アフリカ(5年半)含め市民社会強化の分野でのNPO/NGOマネジメント歴25年。現在金融庁・GSG共催インパクト投資勉強会委員、休眠預金等活用法における指定活用団体評価アドバイザー等。株式会社ブルー・マーブル・ジャパン代表取締役。



鴨崎 貴泰

専務理事

グロービス経営大学院卒業(MBA)。環境コンサルティング会社を経て、公益財団法人信頼資本財団に設立時より参画し、社会起業家に対する無利子・無担保融資事業やNPOのファンドレイジング支援事業を行う。同財団を退職後、2014年NPO法人日本ファンドレイジング協会へ入職。2020年4月より常務理事。



高木 麻美

理事

大学、大学院修了後、コンサルティング会社、シンクタンクを経て2017年に独立。企業の経営支援を行うほか、社会的インパクト投資・評価に関する調査研究、実践支援等を行う。多摩大学社会的投資研究所客員研究員。Stem for Leaves代表。



伊藤 健

業務執行理事

米国にてMBA取得後、GE Internationalに入社。慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科特任講師。内閣府「社会的インパクト評価の普及促進に係る調査」有識者委員等を歴任。特定非営利活動法人ソーシャルバリュー・ジャパン代表理事。



幸地 正樹

理事

社会的インパクト・マネジメントやソーシャル・インパクト・ボンドなど社会課題解決に向けた手法の研究開発・導入支援の他、行動科学とSMSを組み合わせた行政向けプロダクト開発にも取り組む。琉球大学非常勤講師。ケイスリー株式会社代表取締役。



鬼澤 秀昌

監事 / 弁護士 / おにざわ法律事務所代表

2010年東京大学法学部卒業、2012年東京大学法科大学院修了。2012年にBLP-Networkを設立し代表を務める。同年の司法試験合格後より、特定非営利活動法人Teach For Japanへ1年間勤務。2015年にTMI総合法律事務所入所。2017年、おにざわ法律事務所を開業。新公益連盟監事、Learning for All非常勤職員。

メンバーシップ制度のご案内

SIMIの事業や活動に主体的に関わる「エンゲージド・メンバー(有償)」と、SIMIの活動やビジョンに共感・賛同することを表明する「賛同メンバー(無償)」の2種類があります。

1. エンゲージドメンバー(有償)

社会的インパクト・マネジメント(SIM)に関心のある人・組織でSIMIの事業や活動に共感・賛同することを表明し、資金面(会費)からもSIMIの推進活動を主体的に支えるメンバーです。

● 会費(年間)

- ① 10万円:前事業年度の売上高もしくは収入額が1億円以上の組織(非営利・営利を問わず)
- ② 5万円: 前事業年度の売上高もしくは収入額が1億円未満の組織(非営利・営利を問わず)
- ③ 1.2万円:個人

※SIMIの会計年度は7月～6月のため、会員更新は毎年6月末となります。

● 会員特典

- ① エンゲージド・メンバー限定のSIMIに関する勉強会・交流会への参加権利
- ② SIMIに関する研修、イベントなどの参加費の割引
- ③ ニュースレターなどを通じたSIMIに関する情報提供
- ④ SIMIのWebサイトやFacebook、ニュースレターにおける、SIMIに関連するサービスやイベント情報、求人情報などの発信(組織会員のみ、年4回まで)
- ⑤ SIMIのWebサイトにおけるロゴまた組織名の掲載(組織会員のみ)

2. 賛同メンバー(無償)

社会的インパクト・マネジメントに関心のある組織でSIMIの事業や活動に共感・賛同することを表明するメンバー(個人もしくは組織)です。

● 会費(年間)

無料

※SIMIの会計年度は7月～6月のため、会員更新は毎年6月末となります。基本的に自動更新です。

● 会員特典

- ① ニュースレターなどを通じたSIMIに関する情報提供
- ② SIMIのWebサイトやFacebook、ニュースレターにおける、SIMIに関連するサービスやイベント情報、求人情報などの発信(組織会員のみ、年2回まで)
- ③ SIMIのWebサイトにおけるロゴまた組織名の掲載(組織会員のみ)

ご登録方法

下記どちらかの方法でお申込みください。ご不明な点がございましたら、お気軽に事務局までお問い合わせください。

- 1 下記ページより登録申込みフォームに必要事項をご入力の上、ご送信ください。内容を確認後、事務局より連絡いたします。
登録申込ページ:<https://simi.or.jp/about/member/>
- 2 事務局(info@simi.or.jp)までお問い合わせください。事務局より「メンバーシップ規程」及び「登録申込書」を送付いたしますので、規定をご確認の上、登録申込書に必要事項をご記入いただき事務局までご返送ください。

団体概要

名称	一般財団法人社会的インパクト・マネジメント・イニシアチブ (英文表記: Social Impact Management Initiative)	
登記住所	東京都渋谷区	
代表者	代表理事 今田克司	
評議員	青柳 光昌	一般財団法人社会変革推進財団専務理事
	有馬 充美	西武鉄道株式会社社外取締役、株式会社プリンスホテル社外取締役
	太田 達男	公益財団法人公益法人協会会長
	澁澤 健	コモンズ投信株式会社取締役会長、シブサワ・アンド・カンパニー株式会社代表取締役
	水口 剛	公立大学法人高崎経済大学学長
	源 由理子	明治大学公共政策大学院ガバナンス研究科専任教授
監事	鬼澤 秀昌	おにざわ法律事務所代表
理事	今田 克司	株式会社ブルー・マーブル・ジャパン代表取締役(代表理事)
	伊藤 健	特定非営利活動法人ソーシャルバリュージャパン代表理事(業務執行理事)
	鴨崎 貴泰	特定非営利活動法人日本ファンドレイジング協会常務理事(専務理事)
	幸地 正樹	ケイスリー株式会社代表取締役
	高木 麻美	Stem for Leaves代表
Webサイト	https://simi.or.jp/	